

お答えいたします。

当市におきましては、こども課のほうで妊娠届から健診、それから保育、学校、一貫して取り組みはさせていただいています。そういった中で、体制は整っているというふうに思っていますが、今ほどやっぱり虐待等で課題あるのは、保護者、それから子供さんにそれぞれ課題がある場合が多いというふうに思っています。そういった部分もきちとこちらで対応してまいりますけども、今ほどご提言のありました家庭教育支援、そういった条例については、ご提言として受けとめさせていただいて、内部では検討させていただきたいと思えます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（五十嵐健一郎君）

以上で、笠原議員の質問が終わりました。

関連質問なしと認めます。

暫時休憩いたします。

再開を11時10分といたします。

〈午前11時03分 休憩〉

〈午前11時10分 開議〉

○議長（五十嵐健一郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、吉川慶一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

おはようございます。清政クラブの吉川慶一です。

1回目の質問をさせていただきます。

1つ目、ふるさと納税の現状と当市に与えた財政状況について。

2008年に都市部と地方自治体の税収格差を埋めようと始まったふるさと納税制度が10年を経過した。この間、都市部では財源流出、地方では財源確保に返礼品や寄附方法を紹介された。全国自治体では、いろいろと工夫したために寄附額への還元率が高い返礼品が立ち回り、政府としては高額競争しないよう、総務省から見直し通報が通知された。当市のふるさと納税によって寄附された現状と活用された経緯を伺う。

- (1) ふるさと納税は、10年間でどのくらいになるか。
- (2) ふるさと納税によって、市民が受けた住民サービスはどのようなものか。
- (3) 他市町村と比べて返礼品はどのような品物を対象としているか。

2つ目、糸魚川ユネスコ世界ジオパークの現状について。

ジオパーク活動については、平成21年に世界ジオパークと認定され、4年後、再認定されてきた。その間、ジオパーク戦略プランを策定し、多くの関係者と取り組んでいる。

また、地域資源を生かすこととして、北陸新幹線の開業後、交通網の整備が進められ、ジオパークを取り巻く環境が大きく変わり、「保護、教育、地域振興」を推進すると求められた。

そこで、この10年間で、日本、世界ジオパークに認定され、糸魚川市としての対応、また、検証と課題をどのように捉えているか伺う。

- (1) 糸魚川ジオパークの経緯と今後について伺う。
- (2) ジオパークは地域振興に生かされているか。
- (3) 今後の24ジオサイトの保護・保全についてはどうか。
- (4) 今後の24ジオサイトの教育・防災を含め、どのように検証し、生かすか。まだ道半ばで、今後どのような事業計画をされているか。

3つ目、市民の健康づくりについて。

市民は健康づくりに多くの施設を利用しているが、各施設の利用状況についてと市民の反応と健康づくりに影響があらわれているか伺う。

- (1) はびねすの利用状況はどうなっているか。
- (2) サンドリームおうみの利用状況について。
- (3) 健康ポイントラリー10の取り組み状況について。
- (4) 市はクアオルトの取り組みの計画はあるか。

1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

吉川議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、今年の1月分までで総額約6億7,000万円のご寄附をいただきました。

2点目につきましては、ご寄附をいただいた皆様からお選びいただいた使い道に沿って、地域づくりや子育て支援、伝統文化の継承などに活用させていただいております。

また、一昨年、昨年の駅北大火へは、発生からこれまでに約5億3,000万円のご支援をいただき、復旧・復興事業や防災力強化の貴重な財源として使わせていただいております。この場をおかりいたしまして、お礼申し上げます。

3点目につきましては、当市の名産品であるお米や地酒、海産物などのほか、真柏といった地域資源も返礼品として提供いたしております。

2番目の1点目につきましては、昭和62年に策定したフォッサマグナと地域開発構想に基づき、

平成19年9月から教育・防災、保護・保全、地域振興を基本理念とするジオパーク活動を進めてきております。今後も引き続き、市民がふるさとに愛着と誇りを持てるよう、ジオパーク活動に取り組んでまいります。

2点目につきましては、ジオパーク活動による郷土愛や誇りの醸成、伝統文化の伝承のほか、地元住民の指導によるツアー実施などに取り組んでおり、地域振興に寄与しているものと考えております。

3点目につきましては、当ジオパークの特徴的な地域資源を未来へ引き継ぐ必要があると考えており、引き続き、保護・保全に取り組んでまいります。

4点目につきましては、4年に一度実施されるジオパークの再認定審査の際に、それぞれの分野ごとに検証を行っており、必要に応じてその後のジオパーク戦略プロジェクトに反映いたしております。防災面につきましては、ジオパークの大地の恵みと災害は隣り合わせであり、自分たちの住んでいる地域の特徴を学び、防災・減災に役立てることが重要であると考えております。

3番目の1点目と2点目につきましては、29年度の利用者数は、はびねすが8万1,295人、サンドリームおうみが3万9,499人で、今年度につきましては、はびねすは前年度並み、サンドリームおうみは減少傾向となっております。

3点目につきましては、30年度の達成者は538人で、年々、増加傾向であり、男女別では女性が9割を占めております。

4点目につきましては、当市ではどのような取り組みができるか、検討いたしております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

ありがとうございました。2回目の質問をさせていただきます。

ふるさと納税で、相当、他市町村からご寄附をいただいていること厚く感謝を申し上げます。

そこで、二、三ご質問させていただきたいと思っております。

ふるさと納税という制度が始まって約10年ぐらいなんです。どうもいま一度、寄附制度がわかりにくいんじゃないのか、市民にいま一度、浸透性がないと思っております。最初に、簡単に概略だけご説明いただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

ふるさと納税制度につきましては、議員の質問でもございましたように10年前、2008年に制度が始まっておりまして、やっぱり税とは違って、ふるさとを思う気持ちで、市外の方からも郷里を離れても自分のふるさとを応援したいと、そういった気持ちでこういった制度が始まってきているものであります。

市としましても、いろいろホームページとかいろんなメディアを使ってPRする中で、たくさん寄附金をお願いして、少しでも財源の、市が実施する事業の財源確保に努めていきたいと、こういうふうなものであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

多くの、先ほど市長からも6億ぐらいいただいとるということで、大変な財源であるなど思っております。納税される方にすると、ふるさとを思う気持ちで納税していただいとるわけでございます。納税をやはりふるさとで生かしていかなきゃならんと大きく期待したところもあるんじゃないかと思えます。それによって、ふるさととは元気をやはり出さなきゃならないと思えます。

最近、ふるさと納税は、変動は、動向はどうなっているかお聞きいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

最初、制度が始まったときは、まだやっぱり広まりがないというところもありまして、寄附金額のほうも600万程度で推移が始まっております。それから、20年度から始まって、大体横線で、横ばいで来てるんですけども、やっぱり転機となったのは、大火の影響だと思います。大火の関係で、平成28年度になんですけども、一気に4億5,200万と非常に高額なご寄附をいただいております。

その後、寄附金の集め方ですけども、今までふるさと納税をしていただくような、ちょっと手続も見直しをする中で、改善を図ったところありますので、最近では4,000万程度の寄附をいただいとると。徐々にですけども浸透はしてきてるなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

全国的にも相当、このふるさと納税が大きく与えられてるちゅうか、反応があるわけでございますが、糸魚川市もこれによって市税が賄われてるわけですが、どのような影響があるか、お伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

ふるさと納税は、やはり全国ネットの話だったと思っております。やはりふるさとを思う気持ちというのは、糸魚川市民じゃなくて、全国民全てだというふうに思っております。そうしますと、

やはり糸魚川市内の中でもほかの市町村へ寄附をされるという方が出ていらっしゃるのは当然だと思います、それぞれにふるさとを思う気持ちは一緒ですので。

平成30年度の課税でいきますと、寄附金では約9,200万円のご寄附をいただいているんですけども、その中から市外のほうへ寄附をされて、市民税のほうに影響が出てくるというのは、寄附金の控除金のベースで行きますと約1,700万円ぐらいというふうなところは30年度の課税分という形で数字ではあらわすことができております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

相当、糸魚川市へ入る分がほかへ行き、逆によそからいただいとる分と変動があるわけです。そうすると、市内に、商工業に関係は、どのようになっているかお伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

ふるさと納税の返礼品につきましては、地元の産品を使うというのが大原則でありますので、やっぱり市内の事業所に落ちると。消費に向かっていくというふうになります。

返礼品全体で行きますと、直近で行きますと返礼品で2,100万程度、2,100万ぐらいの返礼品として支出しておりますので、これが地元経済に影響するものというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

地元にも2,000万ぐらいの影響を、地域経済に影響あるわけですが、例えば例としてどんなもんが喜ばれているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

やはり返礼品の割合として多いのは、お米ですね。お米が返礼品として、非常に多くの人気を集めている商品であります。そのほか糸魚川市の特徴としては、工芸品で、特に真柏とかこういった地域資源を使ったものもありますので、こういったところもやっぱり人気商品になっております。そのほか海産物、加工品というところも人気のもとになっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

そうすると糸魚川産のものを使っていただくのは、非常に糸魚川経済、上がるんですが、返礼品で、よそのちゅうか他市町村のものを使うこともあるんでしょうか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

この件につきましては、原則は地元産品というふうに言われてますので、糸魚川市については地元産品を使っておりますので、他市町村の品物を返礼品として使っているというものはございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

それで、先ほどもお伺いしたんですが、政府から政府規制が受けまして3割、当時は結構なお返しがあったんですが、この返礼率を下げるために地場産に影響が出たんでしょうか、それから。それをお伺いしたいんですよ。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

糸魚川市のほうは、平成29年、国から、総務省からなんですけども、余り返礼品の競争が激しいということで通知をいただいております。糸魚川市としましては、今、国のルールで、国が決めたルールの3割というのをとおおむね守っておりましたので、若干の品物によっては飛び出す部分もありましたけども、そういうものはちょっと調整いたしましたけども、原則的には3割ルールという形で進んでおりましたので、国の基準によって影響があったのかというのは、特段影響はなかったというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

そうすると3割ベースでもって大体今4,000万、去年は4,000万、ことしも期待するところでございますが、今後、この活用をもっと上げるべきか下げるべきっちゃあ、上げるべきなんでしょうけど、じゃあ具体的にどのような何か考えていらっしゃるのかお伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

たくさんのお寄せをいただき、さあ使い道はどうかというお尋ねだと思います。

糸魚川市のほうでは、今6項目、お寄せをされる方って、それぞれやっぱり思いというのはありますわね。こういうふうに使っていただきたい。私はこれに寄附するんだというのがあると思うんです。特に、ふるさとの地域づくりの部分で生かしたいとか、後はふるさとの安心・安全に使っていただきたいとか、後は人づくり、これから人口減少もあるんですけど、やっぱり人づくりという面、それとあと、ふるさとのやっぱり伝統文化の継承、そういったところにも活用というところで、こういった項目で、今は運用しております。さらに、さらなる活用というのも国からも示されておりますので、今後、やはり財源が厳しくなっておりますので、いかに全国の皆さんから糸魚川市に共感を持っていただけるか、そこら辺が大事だというふうに思います。そういうものを考えながら、新たな事業展開は考えていく必要があると思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

今言われたように非常に財源が貴重なものであるということでございますので、大いに活用させていただいて、糸魚川市の市税に納税が多くあるようにいただきたいとここでございます。

全国には、地方、ふるさとを思う方がたくさんいらっしゃると思うんです。それを1人でも多くの応援者が私らにいただきたいと、こう思うわけでございますが、そうすると、ことしはどれぐらいいただきたいっちゃあ、先なんですけど、政策はありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

大火の影響で、非常に4億5,000万円という形でぐんと上がりました。その次の年は9,200万です。ことしは1月末で約4,300万というか、ちょっとまだ苦戦はしてる部分があるんですけども、今後、もうちょっとPRをする中で何とかふるさと納税を、寄附金を集めるような取り組みは進めていかなければならないというふうに思っておりますが、ことしは30年度は、1月末現在で4,300万円という状況になっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

ちょっと確認なんですけど、ことしもこの3カ月で4,000万ですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

30年の「年」ですね、年度ではなくて、これ暦年でいってますので、30年でいきますので、

1月から始まって12月で終わるという状況でカウントしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

ちょっと数字の違いが出るとあれなんですけど、31年度の3カ月なんですか、30年度なんですか。30年の1月から12月までで4,000万と、ここをちょっと確認だけさせてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

30年の1月から12月末。30年ですね、年の1月から12月です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

多くのお金、寄附をいただきたいと思いますが、多分に先ほど言うように、これから努力、PRをしていきたいということでしょうか、ちょっと具体的に何をどういうふうにやるっちゃう、お考えはあるんでしょうか。お伺いしますが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

これまで多くの皆さんから共感をいただけるように寄附金の納付の方法とかを、ちょっと民間の事業者の皆さんにちょっと協力もいただきながら改善してまいりました。これからは、やっぱりもうちょっと糸魚川市のPR、首都圏も含めてなんですけども、情報の発信をして、やっぱり糸魚川をよく知っていただくというのが、一番大事だというふうに思っております。

そういった情報の発信をする中で、糸魚川というのはどういうところで、糸魚川へ来たらどんな体験価値があるのかと。そんなようなものをイメージ的に発信をしていくというのが、まず第一かなと思います。今は、大火というところで認知度が広がっていると思うんですが、それのほかにヒスイですとかジオパーク、そういったところでの話題性を提供して、何とか糸魚川に目を向いてもらうような取り組みを進めていかなきゃならないというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

それで、実はふるさと納税されてる方で、アンケートみたいなのはとっておられるんですか。寄附された方からご意見みたいのを、意見ですね、生の声っちゃいいですか。そういうことをしてる

のかどうか。

ある人が、寄附はしたんだけど声がさっぱりわからんということもちらっと聞いたのでね。実際、そしやあどんなことをされてるのか、またしてないのか、これをお伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

ご寄附いただいた方からメッセージという形で一言添えて、糸魚川市の感想ですとか、そういうアンケートまではいかないんですけども、感想をいただいたり、一言コメントいただくような取り組みはいたしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

ぜひご寄附をいただいた方にお気持ちを聞くということも必要でないかなと、こう思います。どんな意味を込めてご寄附をいただいたのかと。これはここら大事にしていかなきゃならんなと思いますので、お願いいたします。

それから次に、先ほどもちらっとあったんですが、物も大事でございますが、糸魚川を知っていただくのは、実際に来てやっぱり見ていただく、体験をしていただく、これもやはり必要ではないかと思うんですが、これについてお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

議員、申しわけありません。まず、前段ですとおわびと訂正になります。

先ほど30年度の実績で、1月から12月というふうに申しあげましたけども、今4,300万円というふうに申しあげた数字につきましては、30年4月1日から31年の1月31日までで4,300万円でした。申しわけありません、もう一度言います。30年の4月1日から31年の1月31日までの集計が4,300万円でありました。申しわけありません、訂正させていただきます。

では、ご質問にお答えしたいと思います。

確かに足を運んでもらうというのは、非常に大事だと思います。返礼品の中には、市内の宿泊施設の宿泊券、やっぱり糸魚川へ足を運んでもらって、またリピーターをふやすきっかけにもなっていくのかなと思いますので、そういった宿泊券の返礼ですとか、あとゴルフプレー券の返礼品というものを用意いたしております。まだまだやっぱり品物で糸魚川産品だけ送っても、ただ消費してしまうだけでありますので、やはり糸魚川へ足を運んでもらうというのが大事になってまいりますので、交流人口の拡大ということで市全域を挙げても、全庁を挙げてもいろんな角度で取り組みをやっておりますけども、ふるさと納税を使った中でもこういった体験をしていただくという価値を

つけながら、返礼品で少しでも交流人口につなげていくというのは、有効だというふうに思いますので、まだまだ糸魚川へ来ていただけるような体験価値は何なのかというところは研究していきな
きゃいけないというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

物も大事でしょうけど、やはり体験していただくことがやっぱり一番でないかなと私も思います。ぜひそういうのも中に入れていただいて、糸魚川、ふるさとこういうんだよと。地域が頑張ってるよということが必要でないかなと思いますので、ぜひ項目に入れていただきたいと思います。

糸魚川には、数多く本当に、住んでよし、訪れてよし、体験よし、みんないいとこ尽くめであると思います。私も自慢できると思っております。ぜひ検討していただきたいと思います。

それから、政府がいろいろふるさと納税の、全国で見るとふるさと納税に解釈の相違が出ております。そういうところから言いまして非常に、一生懸命やるととこと、若干解釈が先へ進んでるとこと、多少、差があります。こういうとこをやはり考えていただいて、もう少しどれが本当だかつちゅうのが、地域でやっぱり考えるべきでないかなと思います。ある程度、知恵さえ出せば、大いにふるさと納税が多くいただけるんじゃないかなと思っておりますので、いま一度考えていただいて、その返戻金の3割が非常に問題になっておりますが、3割が本当に妥当かどうかちゅうもんを、品物でもやはり3割に値するかどうかちゅうのも、これは非常に難しいと思います。ぜひそういうのを再度、地場産品を有効に使っていただきたいなど、こういうことをお願いしときます。

それから、それによって地域の産業をやはり活性化できるようにしていただきたいと。それが結びついていくんだと。非常に地域産業も一部暗いところもありますので、ぜひどんどんと発展していただくようお願いしたいと思っております。

もう一点お願いしたいのは、糸魚川市の返礼品をどこで取り扱っておるんでしょうか。返礼品をお返しする何ちゅうか部署、事業所と言やいいんですか、そういう団体ございますか。これお返しはどこでやるんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

返礼品のお返しにつきましては、市内の事業者さんに今お願いをしてるわけなんですけど、広くホームページで随時、地元産品をご提供いただける方を募集しております。その募集の窓口になっているのは、私のところの企画定住課のほうで事業者様の登録をお願いしたり、あとご注文があれば、こっちから事業者さんをお願いして、発送していただくという、こういう仕組みで今取り扱っております。窓口は、私のところでやっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

そうすると、納税は企画定住課でやっていただいて、後は直接業者からお返しをしていただくと、こういう仕組みですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

品物の発送につきましては、こちらから依頼をしまして、事業者様から直接その方に発送いたしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

例えばの話なんですけど、これが今、糸魚川に出ておりますわね、これはギフトカタログちゅう。こういうもんで各寄附をいただいた方にこういうところから選ぶんですか、それとも何か別のパンフをやるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

ギフトカタログにつきましては、そのものを直接お送りして、その中から寄附された皆さん方から選んでいただいて、注文していただくという仕組みになっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

じゃあもう一点だけ確認させてください。

そうすると、窓口、市から各業者さんをお願いして、業者さんは、そこでその商売単価に見合ったものをお返しすると。こういうことでよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

藤田副市長。〔副市長 藤田年明君登壇〕

○副市長（藤田年明君）

現状のふるさと納税の流れですけれども、まず、返礼品の商品については、先ほど企画定住課長が言ったとおり市内の事業所から、うちでは1万円の寄附だったら3,000円相当の商品でこういうものが提供できますよということで登録を受け付けて、それを市のホームページとか、今ふるさとチョイスを使っていますので、そのふるさとチョイスに糸魚川市の返礼品というのはこういうものがありますよという形で上げております。それで、寄附される方はそういうものを見て、私は

1万円の寄附をして、こういう返礼品が欲しいです、もしくは返礼品要りませんというのものもあるんですけども、そういう形で寄附していただいて、市としては、1万円を市の歳入に入れます。同時に、依頼のあった返礼品については、登録された事業者のほうへ、この方に返礼品を送ってくださということで通知を出して、送られた後に、今度は事業者から市のほうへ請求書が来ますので、市のほうで返礼品のお返し分を支払ってるといふ、そういう流れになっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

大変申しわけございません。認識の差がちょっとありましたので、今ご確認をさせていただいたということです。ありがとうございました。

続きまして、2番目のほうへ移らせていただきます。

ジオパークの件について、お伺いいたします。

長い間、ジオパークを取り組んでいただき、もう糸魚川並びに世界の糸魚川と言われるくらいになっております。それで、先ほど市長からも概略いただいたんですが、いま一度、このジオパークの経緯、経過を若干、担当から教えていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ジオパークにつきましては、市長から答弁ありましたように1987年のフォッサマグナ等地域開発構想から始まりまして、その後、日本ジオパークの認定、世界ジオパークの認定を受けてきております。この間、ジオパーク3つの理念に基づきまして事業を行ってきておりまして、ジオパーク学習や防災教育の推進でありますとか、フォッサマグナパーク等断層露頭の保全でありますとか、教育力の推進と、あと情報発信を行ってきております。

また、ジオパークにつきましては、啓発を図るために解説板の整備ですとか、パンフレット、ガイドブックの作成ですとか、ガイドの養成等も行ってきておりまして、あと市民周知を図るためにジオパーク検定も行ってきております。10年経過しましたので、また今後の、これから先に向けて、また新たな取り組みをしていく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

先人に感謝いたしますが、本当に長い間、やっぱり私たち自然を愛した中で、ジオパークをやっけていただいているし、世界、日本ジオパークということで、担当課も相当のご努力をしていることに感謝申し上げます。

それで、ちょっと二、三教えていただきたいと思っております。

このジオパークって、もう名前だけは認知されているのはあるんですが、市民にどれぐらい認知

されてると思っていらっしゃるかをお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

市民への認知度につきましては、総合計画の市民アンケート等で把握しておりまして、27年度の調査結果につきましては、ジオパークという名前を知っているという人までを含めた割合は、一般では93.5%、また中学生では95.3%となっております、一定のある程度認知がされてるというふうに理解しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

糸魚川といやジオパークだと、こういうことで認知されてると思っておればいいわけですね。

そこで、糸魚川には24ジオサイトがあります。この24ジオサイトの整備状況、話が大きくなるんですが、そこまで行く道路っちゅうか、その地区の整備はどのような計画で進めていらっしゃるかお伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

24のジオサイトがあるわけなんです、そのジオサイトの内容につきましては、海岸線のものがあったり、登山道があたりということで、多種多様なジオサイトがございます。そのジオサイトの特徴といいますか、利用形態によりまして、観光面で使うジオサイトにつきましては、そこへ行くアクセス道路ですとか、標示をしっかりとすとかという取り組みになりますし、例えば青海川ヒスイ峡ですとか、マイコミ平などにつきましては、どちらかといいますと保護・保全、保存ですね、保存していこうというジオサイトになりますので、そういうところについては、そういう観点で行っておるということで、そのジオサイトの特徴によって、特色によって何といいますか整備をする、または保護するというところで取り組んでおります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

広大な面積の中にあるわけですね。整備するのは非常に大変なこともわかります。ここまでで、どれぐらい投資されてきたわけでしょうか。概略をお伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ジオパークの活動につきましては、市のみならず、各種団体で行っておるものもございますし、国の機関が行っているものもございますけども、今、市の一般会計の中でジオパーク推進費について合算いたしますと、平成20年度からの10年間で人件費を除きまして、約4億6,700万円となっておりますけども、その内容につきましては、多岐にわたっておりますので、何と申しますかジオパーク活動以外のものとは言えませんが、ジオパーク活動と関連するもので幅広く執行しているという内容でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

じゃあこれから今後について若干お伺いいたします。

ジオパークは、当然、自然の財産でございますが、これはやはり保護・保全していかなきゃならんわけですね。これからどのようにやっていくのか、計画は当然組まれてると思います。それは国も糸魚川市も協同になってやっていかなきゃならんわけですが、将来はどれぐらいの計画で、めどじゃないけど、計画性はあるわけですね。第1ステージから第2ステージに入ってるわけですね。そうすると、これを今後どんなことに重点を置いていかれるか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

ジオパークは、冒頭でもお答えさせていただいたように、保護・保全と防災、そして教育、そして地域振興という3つの事柄から成っております。基本理念は、その3つであるわけでございますが、我々の糸魚川市には24サイト、それは全て押しなべて同じではないと思っております。先ほど課長が申し上げたように、教育で生かす場合、また地域振興で生かす場合、そういうような形がございます。

しかし、それもこれもやはり全て保全や保護、そして防災という切り口でやっていきたいと思っております。そうなりますと、やはりそれによって違ってくるわけでございますので、必ずしも全て同じような道路をつけてということではないかもしれません。歩いていくところもあるのかもしれませんが、そのものによって、そのジオサイトによって計画していきたいと思っておりますし、まだまだ整備が行われてないところもございます。

しかし、多岐にわたったり、また数が多いわけでございますので、これからの中でどれを生かしていくかということが大事だと思っておりますが、しかし、押しなべて、全てこれはふるさとを愛し、そして自然資源を愛し、愛着を持っていくことが、やはりふるさとの存続、また糸魚川の存続になりますし、そしてまた、我々はこの恵みをしっかりとそのような形で生かしていくのは、市民と一体となって進めていかななくてはいけないと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

ありがとうございました。それで、ジオパークと同じなんですけど、今、市民、学生に検定制度を、市外の方もいらっしゃるんですけど、検定をやっておられますよね、1年に多くの方も受験されておるんですけど。

私は、今後ガイドもそうだし、糸魚川市民の認識としても教育の中に小学生か中学生か、学生にも認定を義務じゃないけん、みんな参加していただきたいなと思います。任意じゃなくして、もう小学校で試験を受けていただく。その試験料は市で免除してやると。こういう方式はできないのか、お伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ジオパーク検定につきましては、平成21年度からスタートしまして10年間を経過しておるところでございますけども、まだ小・中学生を中心に一定数の受験者がございます。

議員のご提言の件につきましては、実施可能かどうかも含めまして、また教育委員会等と協議をさせていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

ぜひ前向きにご検討いただきたいと思います。糸魚川の子供たちは、もう最低限の知識は持っておられるし、ぜひそういうことで、どこへ行ってもジオパークのことは話ができるんだという、こういうことになっていただきたいことをお願いしておきます。

それから、どうしても私ごとで悪いんですが、ジオパークの24サイトへ行くには、案内板ちゅうか何ていいますかね、道路に比較的その方向の案内板が少ないように思うんですが、これはどういうお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ジオパークのアクセス道路への誘導看板ですとかにつきましては、先ほども申しましたジオサイトの特性等を考慮しまして、その都度、道路管理者等と協議をしながら整備をしてきたところがございます。当面、一通り整備をしてきたものと思っておりますけども、場所によっては、まだ不足しているもの等もございますので、また状況を見ながら対応してまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

ぜひ検討していただきたいと思います。

それから、ジオパークによって交流人口、宿泊ですね、これどれぐらいの伸びがあったと試算しておりますか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

交流人口ということで、今、日本ジオパークの認定前の19年度と29年度を比較いたしますと、観光の入込客数では185万人から214万人、フォッサマグナミュージアムの入館者数は約4万人から約9万人、修学旅行の受け入れ数は18校から57校と、それぞれ上昇してる状況でございます、宿泊者数につきましては、横ばい、あるいはまた、若干減少してる年もございますけども、交流人口の拡大に寄与しているものというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

多くはふえてないと思うんですが、ぜひそれらも考えの中に入れていただいて、どうすれば交流人口がふえてく、また観光人口がふえるのか、ひとつ各団体等と多くの方にご協力をいただいておりますので、ぜひ糸魚川のジオパークを宣伝していただきたいと思います。

先ほども言いましたように、糸魚川のふるさとを誇るためには、やはり多くのお力が必要でないかなと思いますので、ぜひとも検討していただきたいし、我々もご協力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それから、3つ目の市民の健康づくりについて、若干お伺いしたいと思っております。

糸魚川の市民は、みんな健康であっていただきたいし、医者へなるべくかからんで、国保の節約できる方法は、あれば一番いいんですが、年とともにやはり病気になるということでございます。

先ほど数的には、はびねす、サンドリーム等の人数をお聞きしました。近年、ふえてる傾向なんですか、横ばいですか。人口は減ってるから、ふえてないよといや、はい、そんで終わるんですが、利用者の動向はどんな程度なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

○健康増進課長（横澤幸子君）

はびねすにつきましては、横ばい状況が続いております。サンドリームおうみにつきましては、担当課のほうと情報共有する中では、今年度につきましては、若干減少傾向だということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

それは人口減で減っているんですか、それとも施設等々、ほかの問題がございますでしょうか、お伺いします。分析されているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

数字的なものがなければいいです。

次へ行きます。

次、お伺いしたいことは、各運動教室をいろいろ進めていただいております。運動教室の指導者は、どの程度されているのでしょうか。その指導者と教育、要するに育成はどのようにされてるのか、お伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

○健康増進課長（横澤幸子君）

現在の指導者につきましては、まず地区の運動教室ですが17名、健康体運動教室は3名、水中運動教室は2名となっております。

育成につきましては、特に地区の運動教室については毎年、開催する会場数を拡充させておりますので、新規の指導者の育成の推進を図っております。今年度につきましても、新たに3名の指導者を育成しているところでございます。

また、指導力の向上ですとか、教室の内容の充実を目的といたしまして、年に3回程度、普通救命講習会や、はびねすのインストラクターによる指導者の研修会などを実施しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

最後にお伺いいたします。

今、工事中の屋内プール、はびねすに新設計画がされてます。この利用計画っちゃ、メニュー計画みたいなのは、もうできているのでしょうか。あればいつごろ発表ちゅうか、募集はいつごろされるんですか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

○健康増進課長（横澤幸子君）

新規のプールの利用計画につきましては、現在、実施している各種の水泳教室、水中運動教室、中学校の水泳授業に加えまして、教室の実施数や定員をふやすなど、利用者の増加が図れるよう計画をしております。25メートルのメインプールが8コース、そして多目的プールがありますので、各種教室の開催と同時に自由遊泳ですとか、水中ウォーキングのコースが多く確保できますし、また多目的プールを活用した水中運動教室や小さなお子さんが参加できる教室の開催など、より多くのメニューが提供できるものと考えております。

メニューの発表、募集につきましては、健康づくりセンターの指定管理者の決定を、ことしの12月に予定しておりますので、その後、指定管理者がメニューの告知や募集を行う予定でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

以上をもって、一般質問を終わります。

○議長（五十嵐健一郎君）

以上で、吉川議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

関連質問なしと認めます。

暫時休憩いたします。

再開を13時といたします。

〈午後0時10分 休憩〉

〈午後1時00分 開議〉

○議長（五十嵐健一郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、保坂 悟議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

公明党の保坂 悟でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、公用車の管理について。